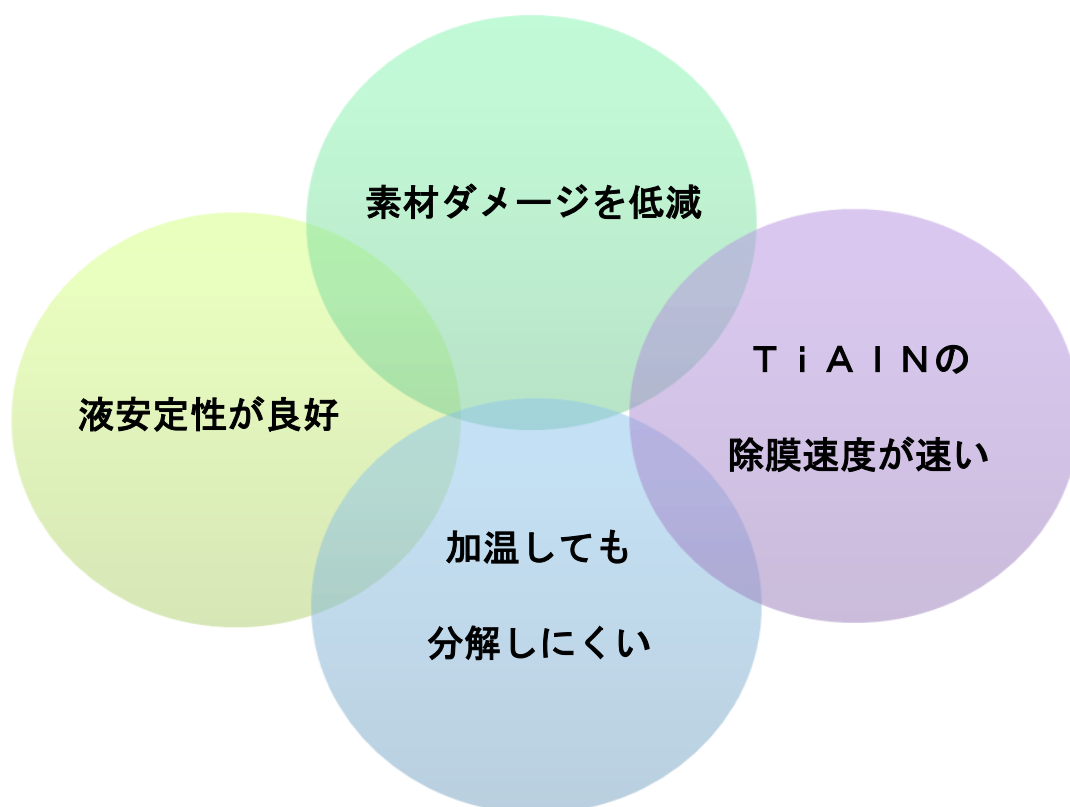


Technical Service Data Sheet

ハイス鋼・ダイス鋼用 2液性 Ti 系硬質皮膜除膜剤

エスツール THD-08



用途: 再コーティング前処理工程における、残留コーティング膜の除膜・剥離

適用膜種: TiN、TiAlN、TiC、TiCN

適用母材: SKH、SKD、HSS等鉄合金、ガラス、シリコンウェハー



佐々木化学薬品株式会社

京都市山科区勸修寺西北出町 10
TEL (075) 581-9141 FAX (075) 593-9784
支店: 滋賀・鹿児島 営業所: 東大阪

Technical Service Data Sheet

性状

	THD-08 A	THD-08 B
外 観	淡黄色透明	透明
液 性	強アルカリ性 (pH13~14)	酸性 (pH2~3)
比 重	1.0~1.1	1.0~1.1

◎建浴組成

建浴比率	THD-08 A	500ML/L
	THD-08 B	500ML/L

◎処理条件

処理方法	浸 漬
温 度	40℃前後 (25~50℃)
処理時間	適 時

処理槽

ガラス、耐熱性の樹脂槽

加熱方法

湯浴 (ウォーターバス) を使用し、加熱して下さい。(温度調節機能付き) 直火、投げ込みヒーターの使用は避けて下さい。

使用方法

推奨温度は40℃ですが、浴比や溶解金属の量によっては急に液分解してしまうことがあります。液温は低温 (25℃前後) から試用していただき、安全に除膜が可能であれば段階に分けて少しずつ処理温度を上げていくことをお勧めします。

冷却方法

液温が50℃以上になりますと液分解が速くなり処理剤の寿命が短くなります。液温を下げるには、湯浴中の水を冷水に取り替えて下さい。また、冷却器を使用することをお奨めします。

処理量

1回の処理量は建浴液1Lあたり1~2dm²として下さい。

荷姿

エスツール	THD-08 A	ポリ容器	20KG
エスツール	THD-08 B	ポリ容器	20KG

◎処理剤が沸騰状態になった場合

処理温度が60℃付近になると、処理剤の分解が進み、沸騰した状態になります。このようになった時、処理剤の中へ水を入れて沸騰した状態を止めて下さい。また、このような処置を施した処理剤は、廃棄して下さい。このような事態を起こさないためには、処理温度を使用温度の範囲に納めて、処理量を減らして処理を行って下さい。

◎廃液処理方法

大量の水で十分に希釈してから亜硫酸ナトリウム等の還元剤、過酸化水素分解酵素で徐々に分解させます。その後中和し濾過を行い、上澄み液は排水基準 (BOD、COD) を考慮し放流して下さい。分離したスラッジは産業廃棄物として処理して下さい。

◎注意事項

- ・取扱う作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う為の設備を設置して下さい。
- ・取扱中は手袋、前掛け、眼鏡、長靴等の保護具を着用し、直接身体または着衣に付着しないように充分注意して下さい。
- ・飛散させたり、こぼさないように注意して下さい。万一飛散したり、こぼしたりした場合は多量の水で洗い流して下さい。
- ・皮膚に付着した場合は、すぐ大量の水で洗い、場合によっては医師の手当を受けて下さい。
- ・直射日光が当たらない冷暗所で保管して下さい。
- ・建浴液は保存出来ません。また建浴液を密閉容器には入れないで下さい。
- ・エスツール THD-08 Bは過酸化水素を含有していますので、毒物及び劇物取締法の「劇物」に該当します。



佐々木化学薬品株式会社

2017年9月発行
京都市山科区勸修寺西北出町10
TEL (075) 581-9141 FAX (075) 593-9784
支店：滋賀・鹿児島 営業所：東大阪